

研究課題 (テーマ)	県内定着率と大学院進学率の一体向上および講義科目の学習意欲向上を目指した「授業での県内企業研究紹介」		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	機械システム工学科	教授	中川慎二
	機械システム工学科	講師	畠山友行
	機械システム工学科	講師	木下貴博
研究結果の概要			
<p>大学院進学率を向上させながら、卒業・修了後の県内定着率を向上させることを目的とし、本学を卒業して県内企業で働く技術者を招き、講義科目内で講演していただいた。2つの科目において、それぞれ別の県内企業技術者を招いた。</p> <p>共同研究を実施中の企業であり、企業側の技術者だけでなく、研究に携わる大学院生にも研究内容を紹介していただいた。講義で学ぶ内容と卒業・修了後の業務のつながりについても具体的に説明があり、受講生の学習意欲向上に貢献した。</p> <p>講演受講後のアンケートでは、企業のことや卒業・修了後の働き方などについて、直接話を聞いたことで理解ができたとの声が多かった。具体的な業務の内容などを紹介していただいたことで、学生にとっては貴重な機会となったことが、アンケートの自由回答欄からわかった。</p> <p>大学院での研究についても具体的に提示したことで、進学への意欲を高めることができた。</p> <p>参加企業の認知度を高め、魅力を伝えることもできた。しかし、就職先の決定にあたっては、地元志向が強いことがわかった。県内定着率を向上させるためには、さらに県内企業の魅力を高め、それを伝えることが必要である。</p>			
今後の展開			
<p>様々な学内行事へ参加していただいている企業であっても、学生の認知度は必ずしも高くないことが分かった。これを改善していくために、一般の講義も含めた様々な機会に、県内企業の活躍などを伝える活動を継続する。</p> <p>今回の取り組みは、大学院進学意欲を高めることに有効であると考えられる。今後も同様の活動を継続し、大学院進学率を向上させる。</p>			